

2019年3月期 第2四半期 決算説明会

CONNECT!

～電気と情報をつなぐ～

NITTO 日東工業株式会社

証券コード：6651

(2018年11月27日開催)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。従って、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、表記の都合上、公表している数字とは異なる場合があります。

NITTO 日東工業株式会社

1

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

目次

2019年3月期
第2四半期

1 2019年3月期第2四半期決算概要

2 通期連結業績予想

3 トピックス（価格改定・TOB）

4 中期経営計画について

5 参考資料

1 2019年3月期第2四半期決算概要

2 通期連結業績予想

3 トピックス（価格改定・TOB）

4 中期経営計画について

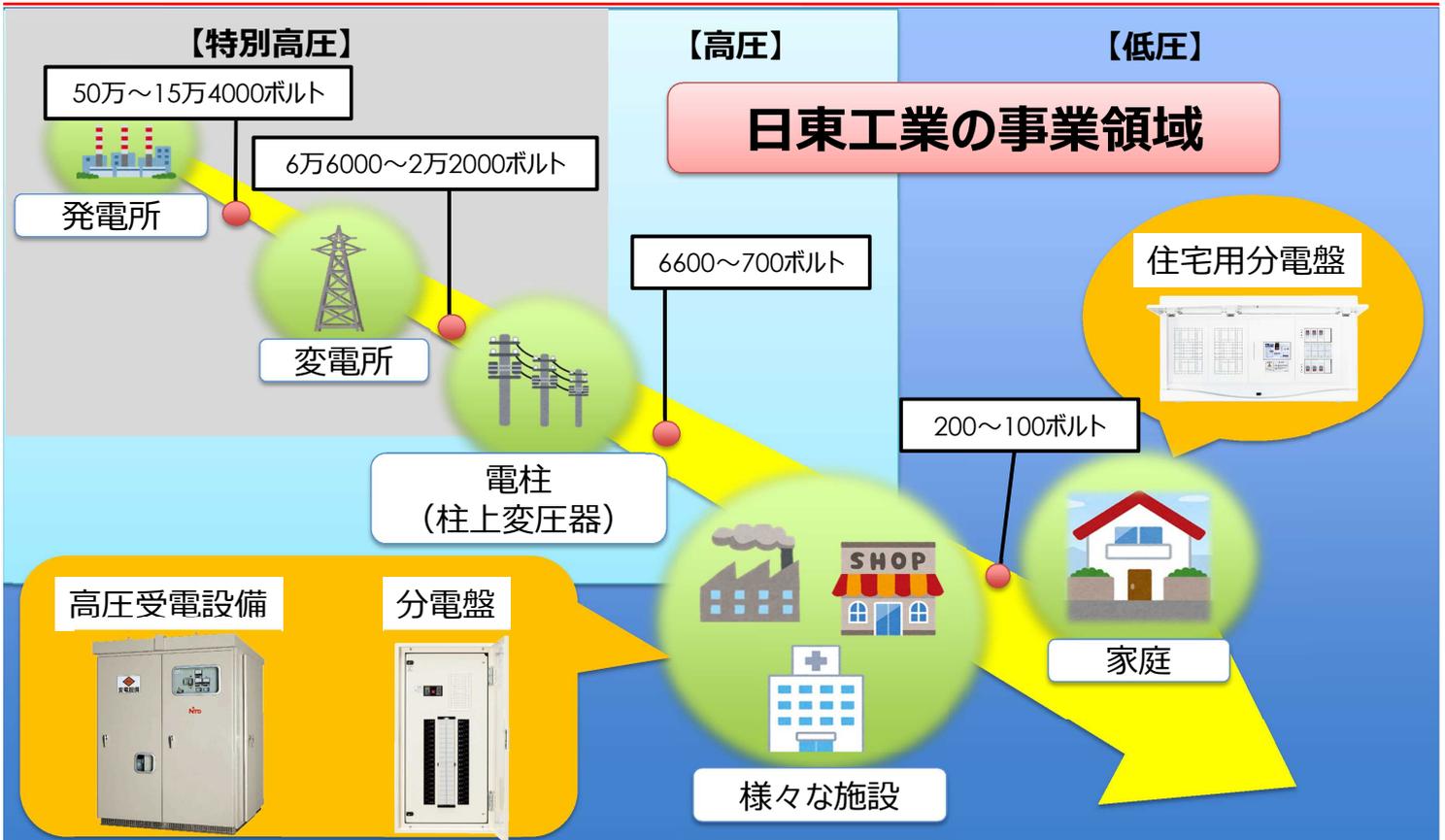
5 参考資料

第2四半期 連結決算ハイライト

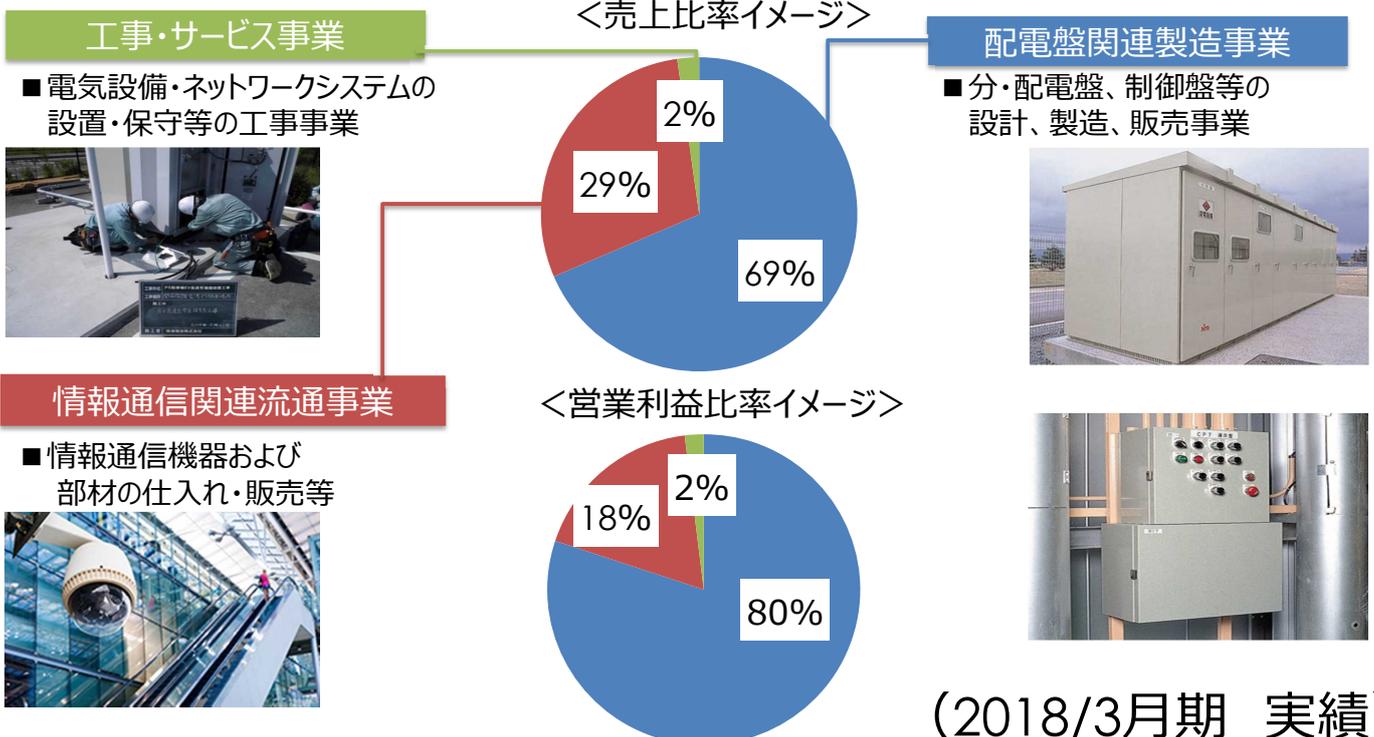
- ・ 連結業績は増収増益。上期業績計画に対して、全ての項目で目標達成となる
- ・ 売上高は、工事・サービス事業が微減となるも、配電盤関連製造事業および情報通信関連流通事業が堅調に推移し増収
- ・ 各利益項目は、日東工業単体の増収による限界利益の増加や固定資産売却に伴う特別利益を計上したことなどにより増益

(単位：百万円)

決算期	2018/3	2019/3			
	2Q実績	2Q計画	2Q実績	前年同期比 増減率	計画比 増減率
売上高	49,433	51,500	51,742	+4.7%	+0.5%
営業利益	1,907	1,800	2,030	+6.5%	+12.8%
経常利益	1,842	1,800	2,030	+10.2%	+12.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	974	900	1,181	+21.2%	+31.3%



配電盤関連製造事業が売上の約7割、利益の約8割を占める



第2四半期 セグメント別 決算ハイライト

2019年3月期
第2四半期

- ・ 配電盤関連製造事業は、設備投資需要の緩やかな増加により増収増益
- ・ 情報通信関連流通事業は、ネットワーク機器などの売上が堅調に推移した一方、太陽光関連製品の売上減少や固定費の増加により増収減益となるが、売上・利益ともに想定を上回る着地となる
- ・ 工事・サービス事業は、電話設備工事・インターネット保守などの売上が増加したが、通信関連工事の売上が減少した結果、減収。一方、他セグメントへの売上が増加したことにより増益

	セグメント別	2018/3	2019/3			
		2Q実績	2Q計画	2Q実績	前年同期比増減率	計画比増減率
売上高	配電盤関連製造事業	34,200	36,100	36,281	+6.1%	+0.5%
	情報通信関連流通事業	14,069	14,300	14,318	+1.8%	+0.1%
	工事・サービス事業	1,163	1,100	1,142	△1.7%	+3.8%
	合計	49,433	51,500	51,742	+4.7%	+0.5%
営業利益	配電盤関連製造事業	1,458	-	1,640	+12.5%	-
	情報通信関連流通事業	399	-	304	△23.6%	-
	工事・サービス事業	43	-	75	+74.0%	-
	合計	1,907	-	2,030	+6.5%	-

第2四半期 配電盤関連製造事業（部門別売上高）

2019年3月期
第2四半期

- ・ 日東工業単体は、太陽光関連製品の売上減少は続くもキャビネットや熱関連機器などの標準品を中心に売上が増加し、前年同期比で増収
- ・ パーツ・その他部門は、前第3四半期連結会計期間に子会社化したECADソリューションズが売上増加に寄与し、前年同期比で増加

部門別 売上高	2018/3	2019/3				
	2Q実績	2Q計画	2Q実績	前年同期比増減率	計画比増減率	
配電盤 関連 製造 事業	配電盤	18,803	19,900	19,819	+5.4%	△0.4%
	キャビネット	10,353	10,800	10,794	+4.3%	△0.1%
	遮断器・開閉器	2,539	2,500	2,606	+2.6%	+4.2%
	パーツ・その他	2,504	2,900	3,061	+22.2%	+5.6%
合計	34,200	36,100	36,281	+6.1%	+0.5%	
連結全体合計	49,433	51,500	51,742	+4.7%	+0.5%	
連結売上構成比	69.1%	70.1%	70.1%	+1.0%	0.0%	

第2四半期 連結営業利益の増減要因

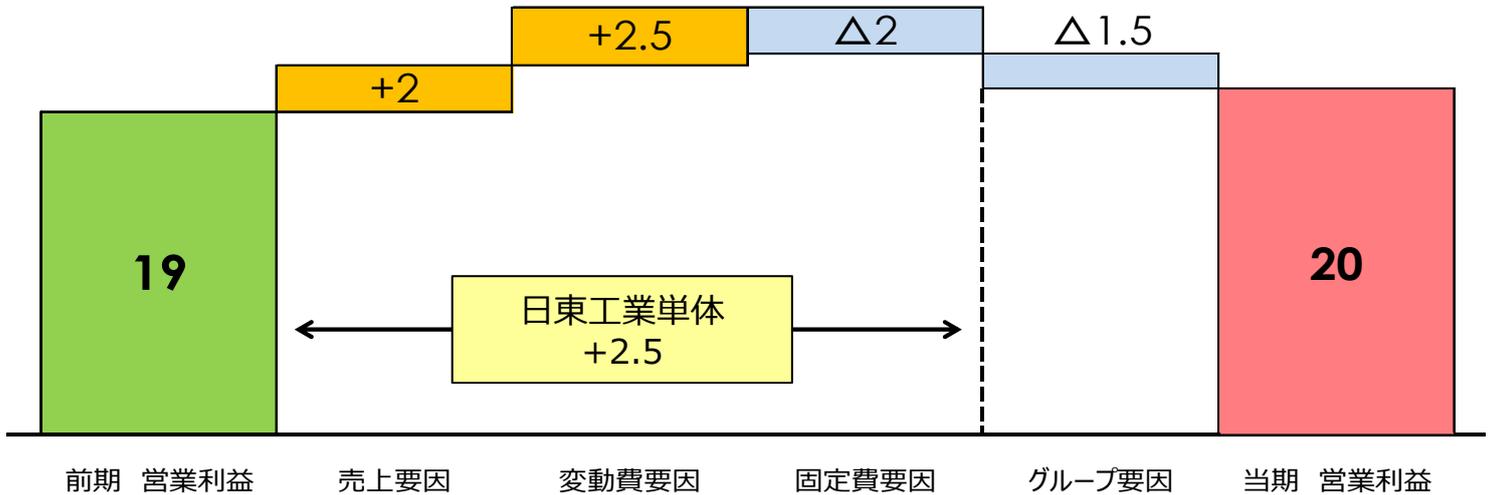
2019年3月期
第2四半期

- 日東工業単体要因としては、人件費等の増加により固定費は増加するも、売上増加による限界利益の増加や、値引率の改善（変動費要因）などにより増益となる
- グループ要因では、大洋電機製作所やE C A Dソリューションズ、南海電設などが増益となるも、サンテレホンや新愛知電機製作所、海外子会社が減益となる

(単位：億円)

【2018/3月期 2Q】

【2019/3月期 2Q】



NITO 日東工業株式会社

9

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

2019年3月期
第2四半期

(単位：百万円)

	2018/3 2Q	2019/3 2Q	前年同期比増減額
現金及び現金同等物の期首残高	25,138	28,283	+3,145
営業活動によるCF	3,358	3,020	△338
投資活動によるCF	△1,825	△737	+1,087
財務活動によるCF	△810	△613	+196
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,892	29,873	+3,981

<主な増減内容>

■ 営業活動によるCF ・税引前利益の増加 +199 ・売上債権増減額の差異 +1,317 ・減価償却費の減少 △125 ・たな卸資産の増減額の差異 △550 ・法人税等の支払額増加 △1,201	■ 投資活動によるCF ・有形固定資産の取得に伴う支出の減少 +828 ・有形固定資産の売却による収入の増加 +393 ・関係会社株式の取得による支出の増加 △43 ■ 財務活動によるCF ・期末配当金支払額の減少 +202
--	---

※数値は前年同期比増減額

NITO 日東工業株式会社

10

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

- ・ 売上債権ならびに買入債務の減少などにより資産が減少しているものの大きな変動は無い

(単位：百万円)

	2018/3 実績	2019/3 2Q実績	増減	主な増減要因
流動資産	67,684	67,595	△89	■ 資産 ・売上債権の減少 (△2,875) ・のれんの減少 (△359)
固定資産	36,202	34,655	△1,547	
資産合計	103,886	102,251	△1,635	
流動負債	19,790	17,995	△1,795	■ 負債 ・買入債務の減少 (△815) ・短期借入金の増加 (+173)
固定負債	1,034	1,030	△4	
負債合計	20,825	19,025	△1,800	
純資産合計	83,061	83,225	+164	・四半期純利益 (+1,181) ・配当 (△810) ・為替換算調整勘定 (△268)
負債資本合計	103,868	102,251	△1,617	

目次

1 2019年3月期第2四半期決算概要

2 通期連結業績予想

3 トピックス (価格改定・TOB)

4 中期経営計画について

5 参考資料

通期連結業績予想

2019年3月期
第2四半期

- 通期連結業績は増収増益を計画（連結売上高計画は過去最高）
- 増収増益の主な要因は日東工業単体の変動費等の改善や価格改定の影響によるもの

※北川工業株式会社株式に対するTOBに関して、当期（2019/3期）及び今後の連結業績に与える影響について精査中であり、公表すべき事実が生じた場合には速やかに公表します。

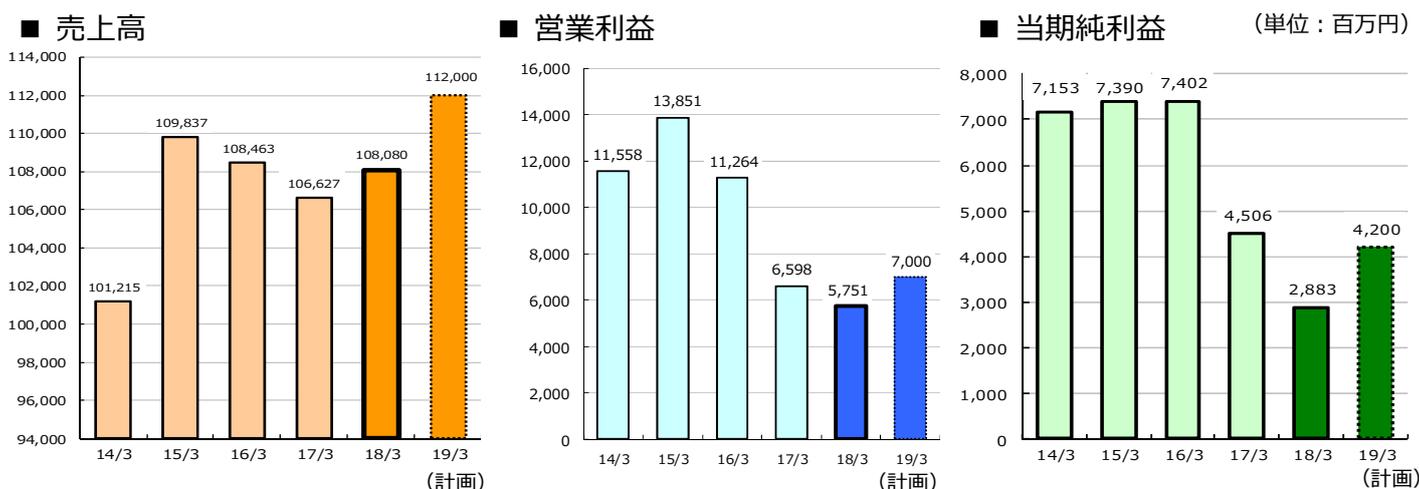
（単位：百万円）

決算期	2018/3		2019/3			
	2Q実績	通期実績	2Q実績	前年同期比 増減率	通期計画	前期比 増減率
売上高	49,433	108,080	51,742	+4.7%	112,000	+3.6%
営業利益	1,907	5,751	2,030	+6.5%	7,000	+21.7%
経常利益	1,842	5,625	2,030	+10.2%	6,900	+22.7%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	974	2,883	1,181	+21.2%	4,200	+45.7%

過去5年 連結経営成績

2019年3月期
第2四半期

- 2019年3月期は増収増益を計画、営業利益に関しては4期ぶりの増益を見込む



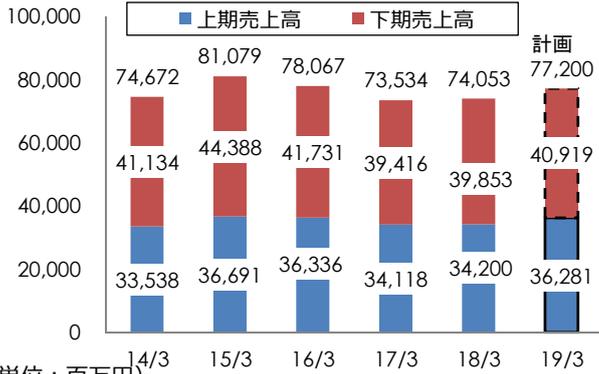
	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3(計画)
売上高	101,215	109,837	108,463	106,627	108,080	112,000
営業利益	11,558	13,851	11,264	6,598	5,751	7,000
当期純利益	7,153	7,390	7,402	4,506	2,883	4,200

業績予想 セグメント別（配電盤関連製造事業）

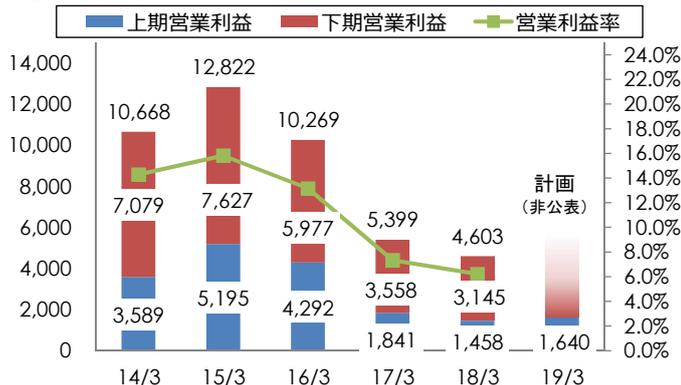
2019年3月期
第2四半期

◆配電盤関連製造事業 通期予想 77,200百万円（前期比 +4.2%）

（単位：百万円）



（単位：百万円）



【通期予想】

・日東工業単体は増収を見込み、セグメント全体でも増収計画

【取り組み】

- ・下期より日東工業製品の価格改定を実施
- ・Gathergates社の生産体制強化および製造コスト削減やBANGKOK SHEET METAL社との連携強化

【主要グループ会社：通期見通し】

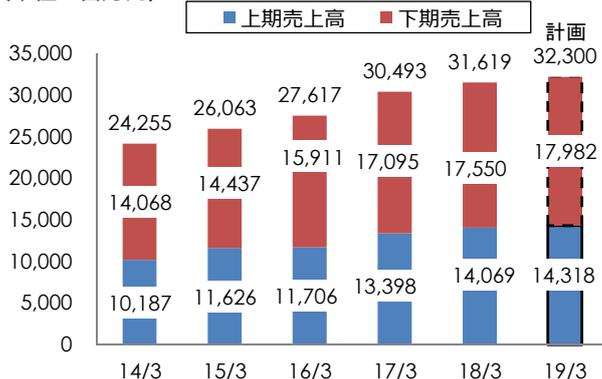
	会社名	売上 (前期比)	営業 利益	グループ利益 影響度
国内	日東工業(株)			大
	(株)新愛知電機製作所			小
	(株)大洋電機製作所			小
	(株)E C A Dソリューションズ	-		小
海外	日東工業（中国）有限公司			小
	Gathergates Group Pte Ltd			小
	NITTO KOGYO BM (THAILAND) CO.,LTD			小

業績予想 セグメント別（情報通信関連流通事業）

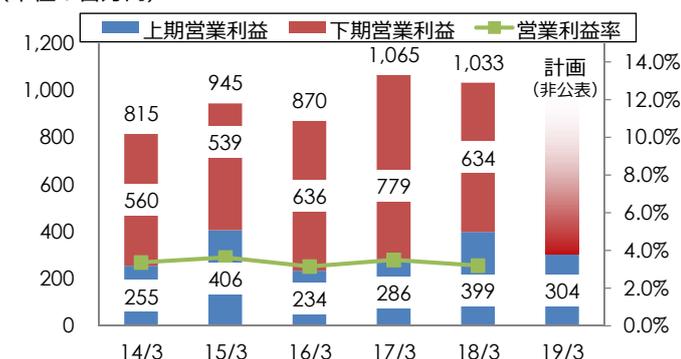
2019年3月期
第2四半期

◆情報通信関連流通事業 通期予想 32,300百万円（前期比 +2.2%）

（単位：百万円）



（単位：百万円）



【通期予想】

- ・ネットワークカメラ需要は堅調な推移を見込む
- ・太陽光関連商材の売上は減少傾向が続くが、相当程度の需要は継続

【取り組み】

- ・首都圏再開発やオフィス移転、オリンピック案件の獲得
- ・カメラ・無線・IoTでのトータルソリューション（ハード/ソフト/サービス）の提案

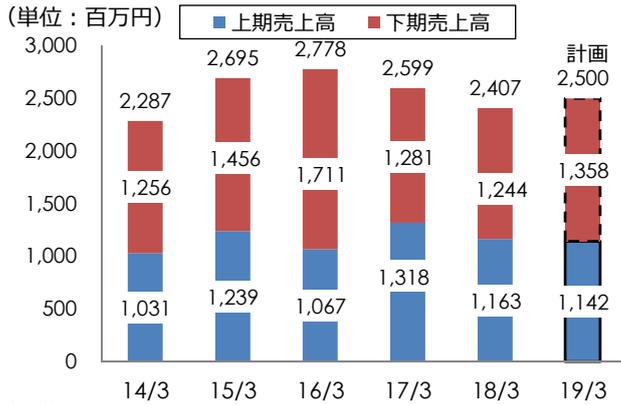
【主要グループ会社：通期見通し】

	会社名	売上 (前期比)	営業 利益	グループ利益 影響度
国内	サンテレホン(株)			中
海外	SUNTEL(THAILAND) Co.,Ltd	-		小

業績予想 セグメント別（工事・サービス事業）

2019年3月期
第2四半期

◆工事・サービス事業 通期予想 2,500百万円（前期比 +3.8%）

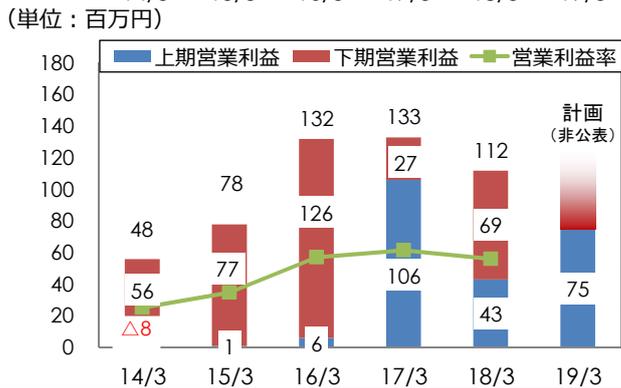


【通期予想】

- ・主力の通信設備工事・電気設備工事は弱い動き
- ・キュービクル・配電盤関連工事による売上増加を見込む

【取り組み】

- ・日東工業との連携を強化し、更なるシナジーの創出に注力



【主要グループ会社：通期見通し】※

	会社名	売上 (前期比)	営業 利益	グループ利益 影響度
国内	南海電設㈱			小

※本セグメントは南海電設㈱のみ

通期連結営業利益の増減要因（今期予想）

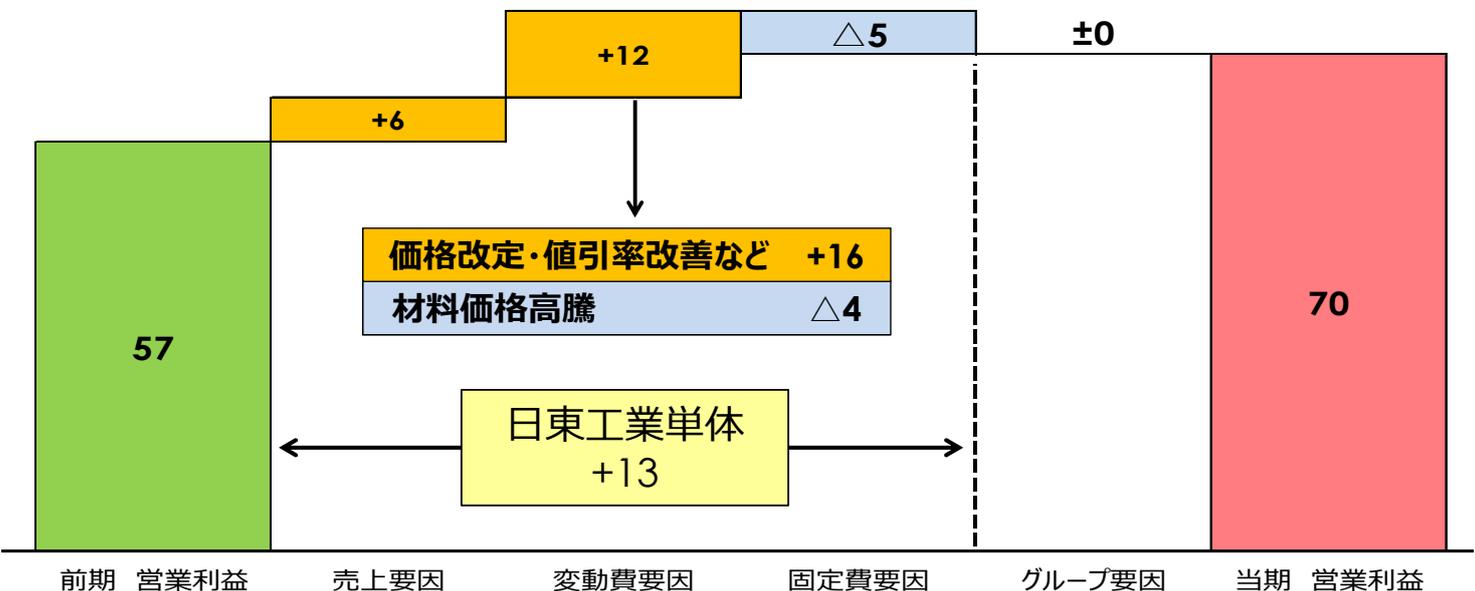
2019年3月期
第2四半期

- ・ 2019年3月期の予想連結営業利益は前期比21.7%増加の70億円を見込む
- ・ 日東工業単体の価格改定の影響や値引率の改善などが利益の押し上げ要因となる

(単位：億円)

【2018/3月期 実績】

【2019/3月期 予想】



通期連結営業利益の増減要因について

2019年3月期
第2四半期

- ・ 売上要因 : 新エネ市場の売上は減少傾向が続くが、減少幅は縮小傾向
従来市場で新エネ市場の売上減少分をカバー
- ・ 変動費要因 : 値引率・材料価格等
 - ① 値引率については悪化傾向が続いていたが、2019年3月期より改善を見込む
 - ② 材料価格高騰の影響については2019年3月期も継続
 - ③ 価格改定の影響により改善を見込む
- ・ 固定費 : 減価償却費・人件費・経費等
 - ① 2018年3月期までは人件費・経費等が減少するも減価償却費の増加が上回る
 - ② 2019年3月期は減価償却費が横ばい、人件費・経費等が増加

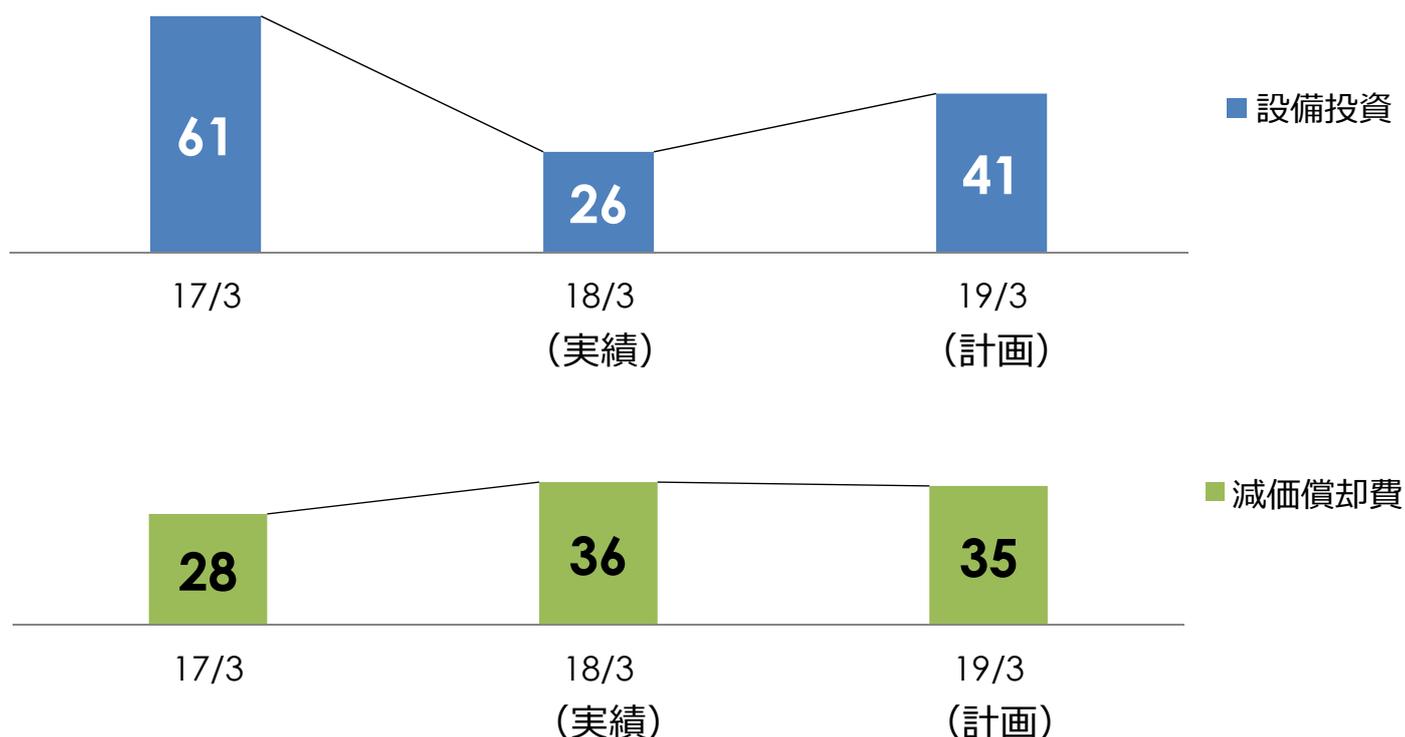
(単位: 億円)

↑: 押上げ要因 ↓: 押下げ要因		2017/3 実績	2018/3 実績	2019/3 計画
営業利益		65	57	70
前期比増減額		△47	△8	+13
増減 要因	売上要因	↓	↑	↑
	変動費要因	↓	↓	↑
	固定費要因	→	↓	↓
	グループ要因	↓	↓	→

設備投資額、減価償却費

2019年3月期
第2四半期

- ・ 2019年3月期は、設備投資41億円、減価償却費35億円を計画



- 2Q実績は前年同四半期比86.3%で推移。前年同四半期比では減少しているものの、改正FIT法の影響により駆け込み需要が発生し、今期計画（前期比82%）を上回る水準で推移している

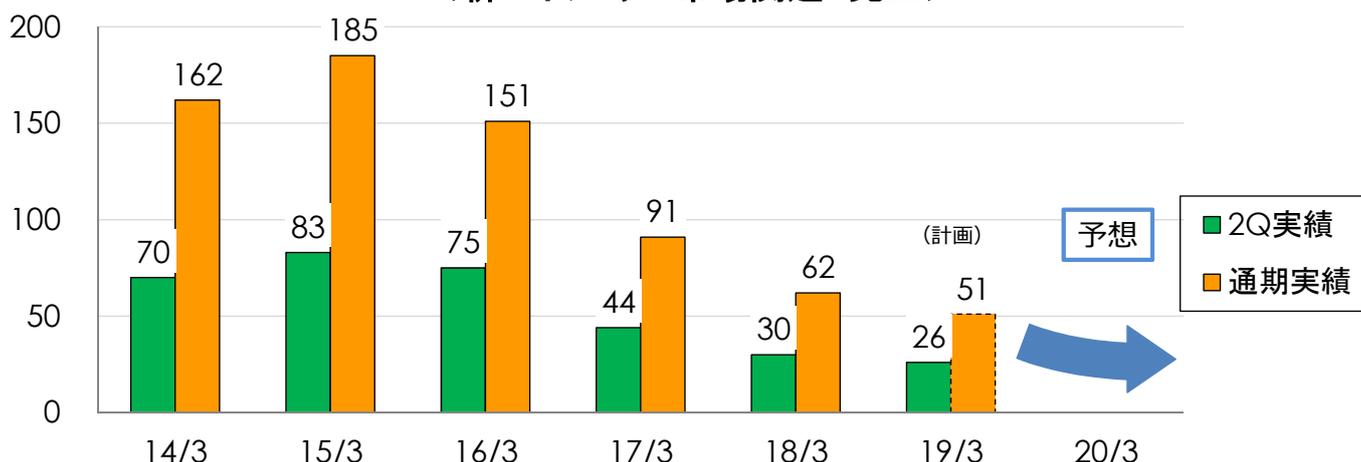
「新エネルギー関連市場」とは

- ①太陽光発電関連（接続箱、集電箱など）
- ②自動車関連（充電スタンド）
- ③その他：エネルギーマネジメントシステム関連など

※売上金額は日東工業単体の売上となり、グループの売上を含めておりません。また、グループ間相殺したものではありません。

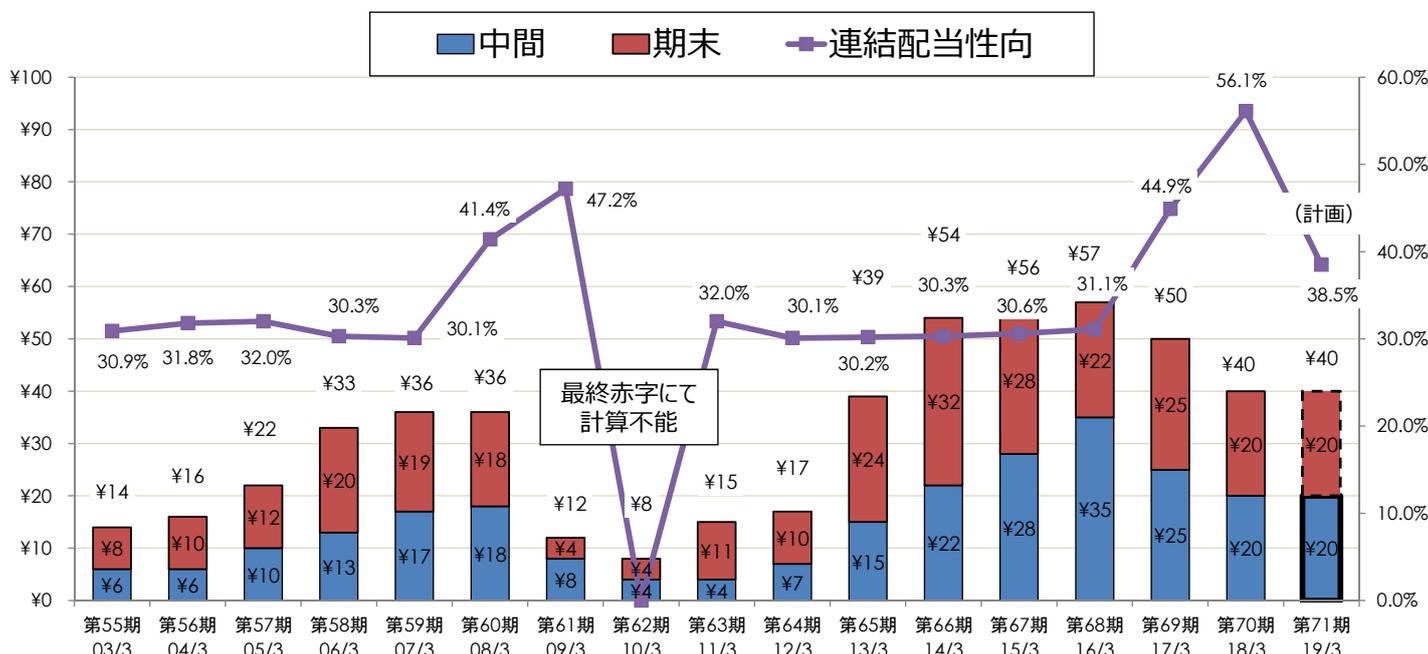
(単位：億円)

<新エネルギー市場関連 売上>



配当の状況

- 中間配当金は20円
- 2018年3月期より、配当方針の変更を行っている
- 配当方針に基づき、通期予想配当額は40円、連結配当性向は38.5%



1 2019年3月期第2四半期決算概要

2 通期連結業績予想

3 **トピックス（価格改定・TOB）**

4 中期経営計画について

5 参考資料

トピックス①：価格改定について

- ・ 原材料費の高騰や物流費の上昇などの影響により13年ぶりに価格改定を実施
- ・ 2019年3月期における価格改定による増収効果は数億円を見込む
- ・ 浸透率は想定どおり推移しているほか、同業他社も価格改定を実施予定

- 1.価格改定時期 2018年10月1日
- 2.主な対象製品と価格改定率

キャビネット	約8%
プラボックス	約5%
システムラック	約7%
光接続箱	約5%
熱関連機器	約5%
盤用パーツ	約5%
ブレーカ・開閉器・端子台	約5%
配・分電盤（標準分電盤・制御盤）	約5%

当社は、2018年11月5日開催の取締役会において、金融商品取引法による公開買付けを行うことを下記のとおり決議しました。

1. 対象者の名称	北川工業株式会社		
2. 買付け等を行う 株券等の種類	普通株式		
3. 買付け等の期間	2018年11月6日（火曜日）から 2018年12月26日（水曜日）まで		
4. 買付け等の価格	1株につき金 3,943円		
5. 買付予定の株券等の数	買付予定数	4,754,376株	
	買付予定数の下限	2,377,189株	
	買付予定数の上限	－株	
6. 買付け等の決済をする 金融商品取引業者の名称	みずほ証券株式会社		

商号	北川工業株式会社(KITAGAWA INDUSTRIES CO.LTD)
設立年月日	昭和38年6月12日
資本金	27億7,000万円
事業内容	コンピュータ・OA機器・AV機器・家電製品・自動車・航空機・建築物等に使用される、下記製品の製造・販売 1. エレクトロニクス機器の誤作動防止などを目的とする電磁波環境コンポーネント 2. 各種機器機構部品や生産性に貢献する精密エンジニアリングコンポーネント
本社所在地	愛知県稲沢市目比町東折戸695番地1
事業所	国内 ・ 製造 2拠点【稲沢、春日井】 ・ 営業 4拠点【東京、名古屋（稲沢）、大阪、宇都宮】 海外（子会社） ・ 製造 3社【無錫、深圳、タイ】 ・ 販売 7社【台湾、シンガポール、香港、ドイツ、アメリカ、上海、深圳】
売上高 (2017年度)	連結：112億円（営業利益10.2億円） 単体：75億円（営業利益1.6億円）
従業員	連結：507名 単体：248名
上場区分	名古屋2部（証券コード：6896）

両社の①事業領域の拡大、②技術領域の拡大、③海外売上の拡大を企図

- ・ 異なる事業を営む両社が相互に補うことによる“新たなビジネス機会”の創出
- ・ 両社の技術力、流通網、顧客基盤の融合による成長力・競争力の強化
- ・ 両社の技術・ノウハウの活用による製品の品質向上・コストダウンの実現

事業領域の拡大

EMC対策部品等の販売網の拡大・販売開始
自動車業界や新エネルギー分野の開拓

新たな分野へ CONNECT!

中核事業で獲得した技術を活かし、新たな市場・産業とつながり、今までにない価値をいち早く生み出していく

技術領域の拡大

F A市場製品の共同開発
相互の試験研究設備を活用した信頼性向上

海外売上の拡大

相互の流通・販売ネットワークの活用
海外展開の加速、生産効率の向上

目次

1 2019年3月期第2四半期決算概要

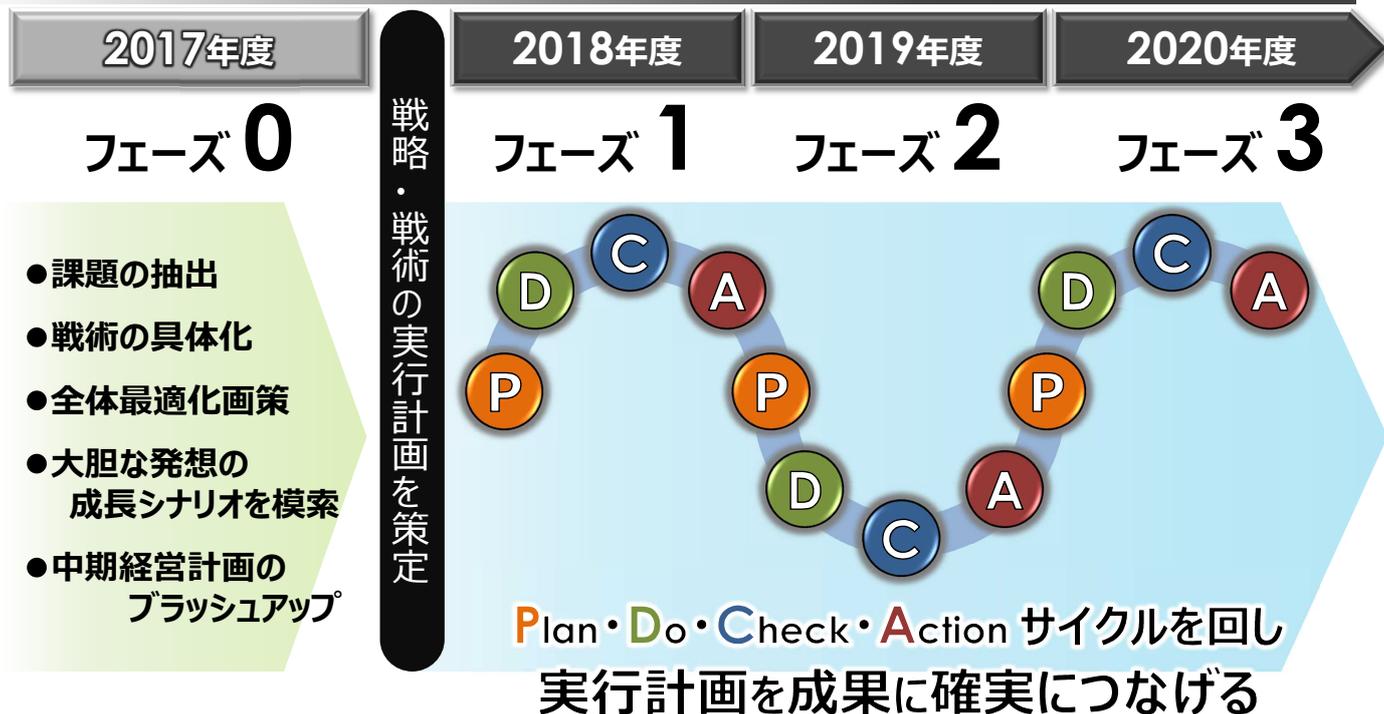
2 通期連結業績予想

3 トピックス（価格改定・TOB）

4 中期経営計画について

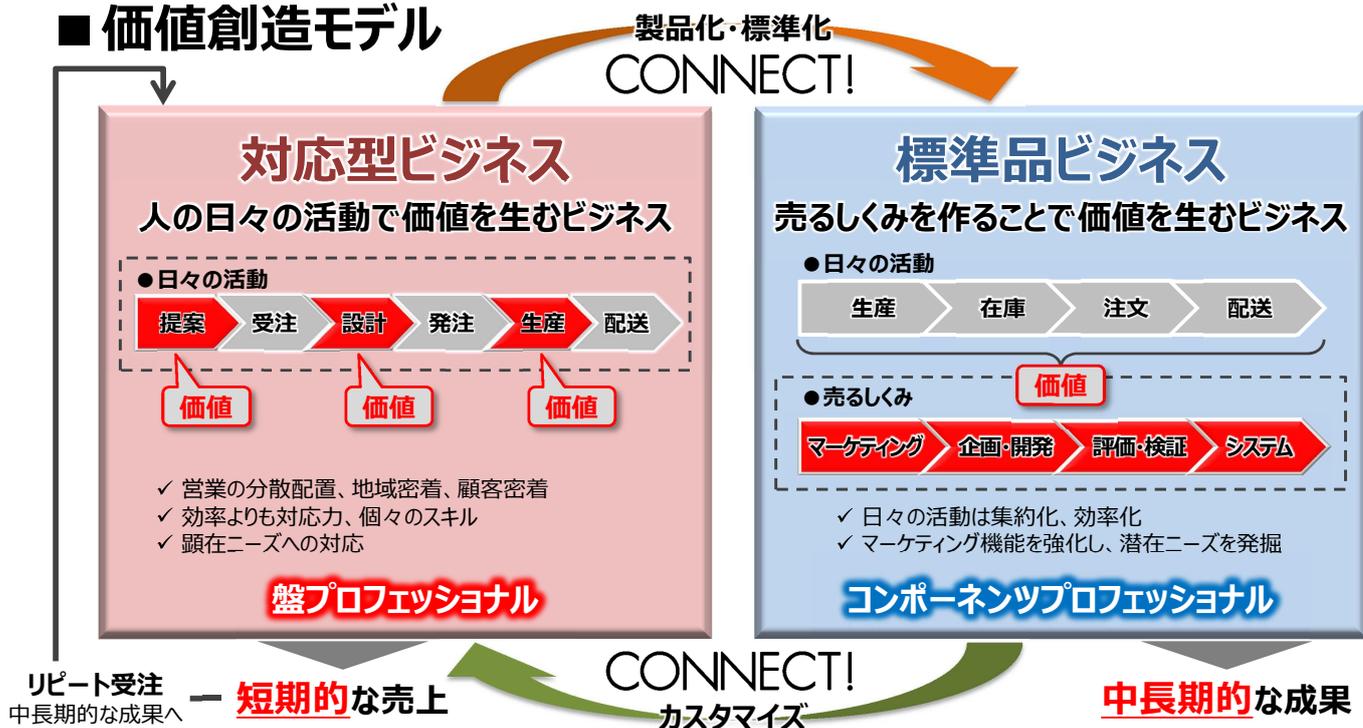
5 参考資料

2020中期経営計画

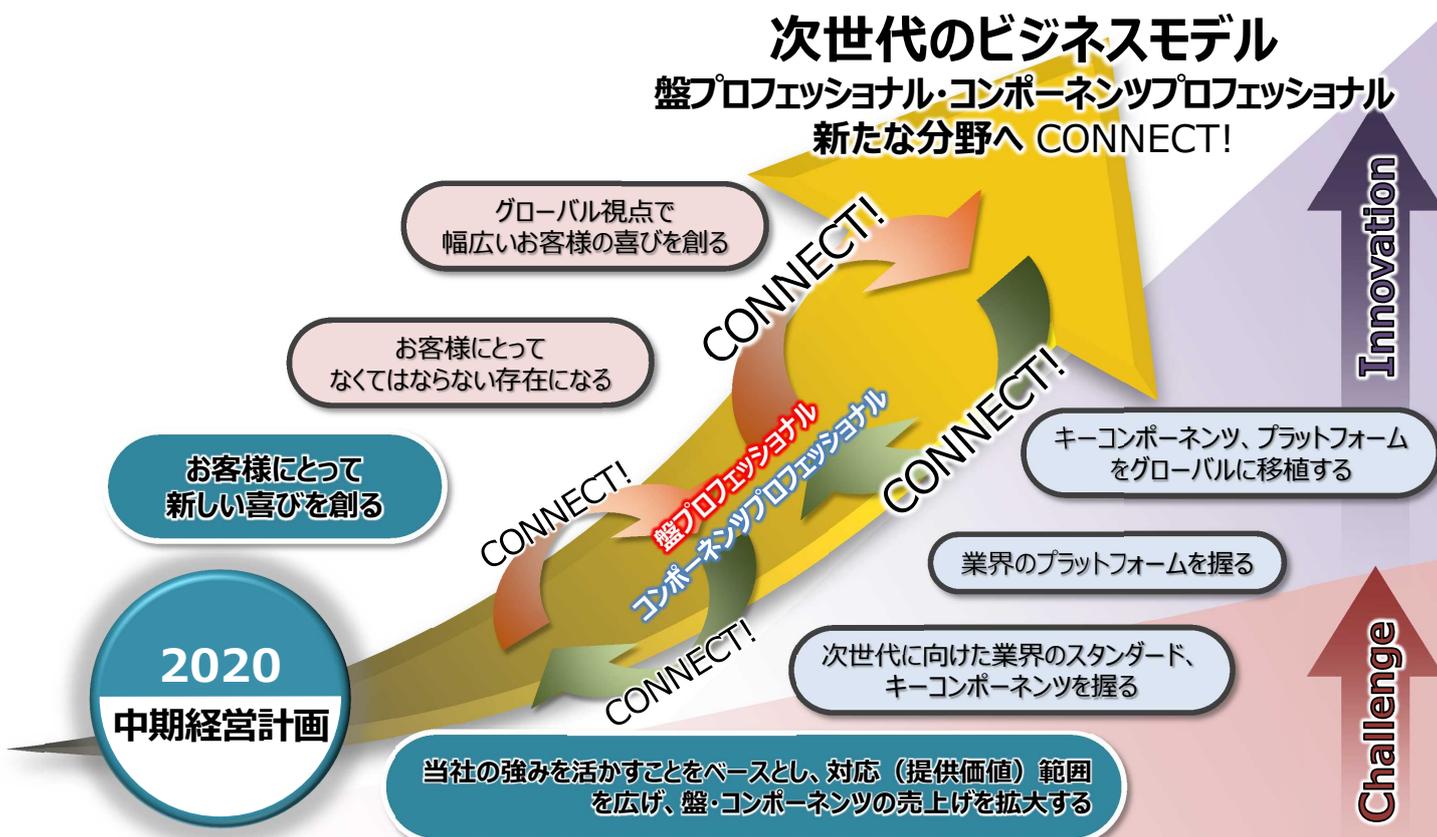


ご参考：対応型ビジネス／標準品ビジネス

■ 価値創造モデル



両ビジネスをバランスよく成長させ、高収益を持続



2020中期経営計画 中期基本方針

スローガン

CONNECT!

～電気と情報をつなぐ～

長期ビジョン

信頼、技術、貢献

～電気と情報を明日へつなげる価値創造企業

盤プロフェッショナル
コンポーネンツプロフェッショナル
新たな分野へ CONNECT!

2020中期経営計画

挑戦 次世代のビジネスモデルへ

2016中期経営計画

顧客志向企業としての能力を卓越させる

実現に向け、柱となる
6つの戦略テーマ

	戦略テーマ	ビジョン
事業戦略	1. コア事業競争力の追求（技術力、製品提案力強化）	
	I 対応型ビジネス [盤プロフェッショナル]	盤関連事業の対応力をきわめ、 頼られるベストパートナーを目指す
	II 標準品ビジネス [コンポーネントプロフェッショナル]	産業インフラ関連企業に喜びを与える企業になる
	2. グローバル化（東南アジアにおける配電盤事業の確立）	
	III 海外事業	海外で活躍する産業インフラ関連企業に 喜びを与える企業になる
	3. 新規ビジネスの展開（新たな技術・企業との融合）	
基盤強化	IV 新規事業	失敗を恐れず、新ビジネス創出に挑戦する
	4. 生産体制・経営基盤の強化	
	V 生産体制強化	お客様に喜んでいただける、品質・コスト・スピードの実現を目指し 改善・改革にチャレンジする
	VI 経営管理基盤強化	日東工業グループの事業戦略を支える 経営管理基盤を確立する

	2016年度 実績	2017年度 実績	2020年度 目標
連結売上	1,066	1,080	1,250
（内 単体売上）	674	685	750
対応型ビジネス	465.5	468.1	470.0
標準品ビジネス	207.0	214.7	240.0
新規事業	1.5	2.2	40.0
（内 情報通信関連流通事業）	（305）	（316）	（350）
（内 海外事業）	（40）	（35）	（70）
連結営業利益	65	57	100
（内 単体営業利益）	50	44	75

（単位：億円）

I 対応型ビジネス [盤プロフェッショナル]

フェーズ 0

◆ グループ戦略の立案

- ✓ グループ会社の得意領域・ノウハウ・技術を活かした具体的な戦略を策定



今後の展開

◆ グループ連携による対応力強化

- ✓ グループ全体で戦略を実行し、対応領域を拡大する
 - ・フィールドサービス体制の拡充
 - ・グループ戦略製品の拡販 など

II 標準品ビジネス [コンポーネントプロフェッショナル]

フェーズ 0

◆ 風雨・耐震試験棟の本格稼動

- ✓ 過酷な設置環境に対する性能検証方法の確立
- ✓ 既存製品の性能把握



今後の展開

◆ 技術力・製品提案力の強化

- ✓ 新たに確立した性能評価基準を市場に浸透させる
- ✓ 過酷な設置環境に適した信頼性の高い性能強化製品の開発につなげる

◆ ECADソリューションズの設立

- ✓ 株式会社ワコムより電気設計CAD事業を承継



◆ 盤関連市場の事業競争力強化

- ✓ 自動設計技術の更なる進化により、顧客利便性の向上につなげる

III 海外事業

フェーズ 0

◆ BANGKOK SHEET METAL社と資本業務提携

- ✓ 東南アジア市場における、配電盤事業の体制を構築



今後の展開

◆ 東南アジア地域での配電盤ビジネス拡大

- ✓ 日東工業、Gathergates社の配電盤・キャビネットの製品開発力と、BANGKOK SHEET METAL社の優れた製造技術を融合させる

IV 新規事業

フェーズ 0

◆ IoTを活用した製品実証実験

- ✓ 高機能感震ブレーカーによる実証実験を開始
 - ・首都圏レジリエンスプロジェクト「データ活用協議会」
 - ・静岡県掛川市「地域防災システム実証プロジェクト」
- ✓ 普通充電スタンドによる充電電力コントロール実証実験を開始
 - ・イケア・ジャパン株式会社、株式会社豊田自動織機との共同実証実験



今後の展開

◆ 「コト価値」の創造による事業領域の拡大

- ✓ 事業化に向け、実証販売へと進展させる
- ✓ IoT技術を組込んだ製品の開発を推進する
- ✓ 製品で得られるデータを活用した新たなサービスを創出し、事業化を目指す

ご清聴ありがとうございました

CONNECT!

～電気と情報をつなぐ～

NITO 日東工業株式会社

証券コード：6651



目次

- 1 2019年3月期第2四半期決算概要
- 2 通期連結業績予想
- 3 トピックス（価格改定・TOB）
- 4 中期経営計画について
- 5 参考資料

【事業セグメント：配電盤関連製造事業】

2019年3月期
第2四半期

■分・配電盤、制御盤等の設計、製造、販売事業

日東工業株式会社	分・配電盤、キャビネット等の製造、販売
主要グループ会社	主要製品・事業内容
株式会社新愛知電機製作所	電気用諸機械器具の設計、製造、販売、修理等
株式会社大洋電機製作所	産業機械用制御システム、ソフトウェア等の製造・販売
日東工業（中国）有限公司	キャビネット・パーツ類等の製造、販売
Gathergates Group Pte Ltd	分・配電盤、制御盤、メーターボックス製造、販売
株式会社E C A Dソリューションズ	電気設計、ハーネス設計専用C A Dシステムの開発・販売
NITTO KOGYO BM(THAILAND)CO.,LTD	当社製品の輸入品販売および現地生産品販売、日本・海外企業製品の仕入販売

配電盤



高圧受電設備



配・分電盤



ブレーカ



パーツ・その他



パーツ



充電スタンド

キャビネット



キャビネット



システムラック

事業セグメント：情報通信関連流通事業

2019年3月期
第2四半期

■情報通信機器および部材の仕入、販売

主要グループ会社	主要製品・事業内容
サンテレホン株式会社	情報通信機器の仕入、販売
SUNTEL(THAILAND) Co., Ltd.	情報通信機器、工事部材の仕入、販売

ネットワークカメラ



それぞれのシステムに合わせた最適な監視システム機器の仕入、販売



高速ネットワーク機器

無線・有線を効率的に使い分けた通信インフラの構築機器の仕入、販売

情報セキュリティ関連製品



様々な情報リスクに対して対策を講じる、トータルセキュリティ機器の仕入、販売

■ 電気設備、ネットワークシステムの設置、保守等の工事業

主要グループ会社	主要製品・事業内容
南海電設株式会社	情報通信ネットワーク事業、電気設備事業等

情報通信ネットワーク事業



電話設備、放送設備、セキュリティ設備、LAN配線などの通信設備工事



その他

- EV・PHEV用充電スタンドの保守・メンテナンス
- 緊急地震速報設備の設置、配信サービス、メンテナンス

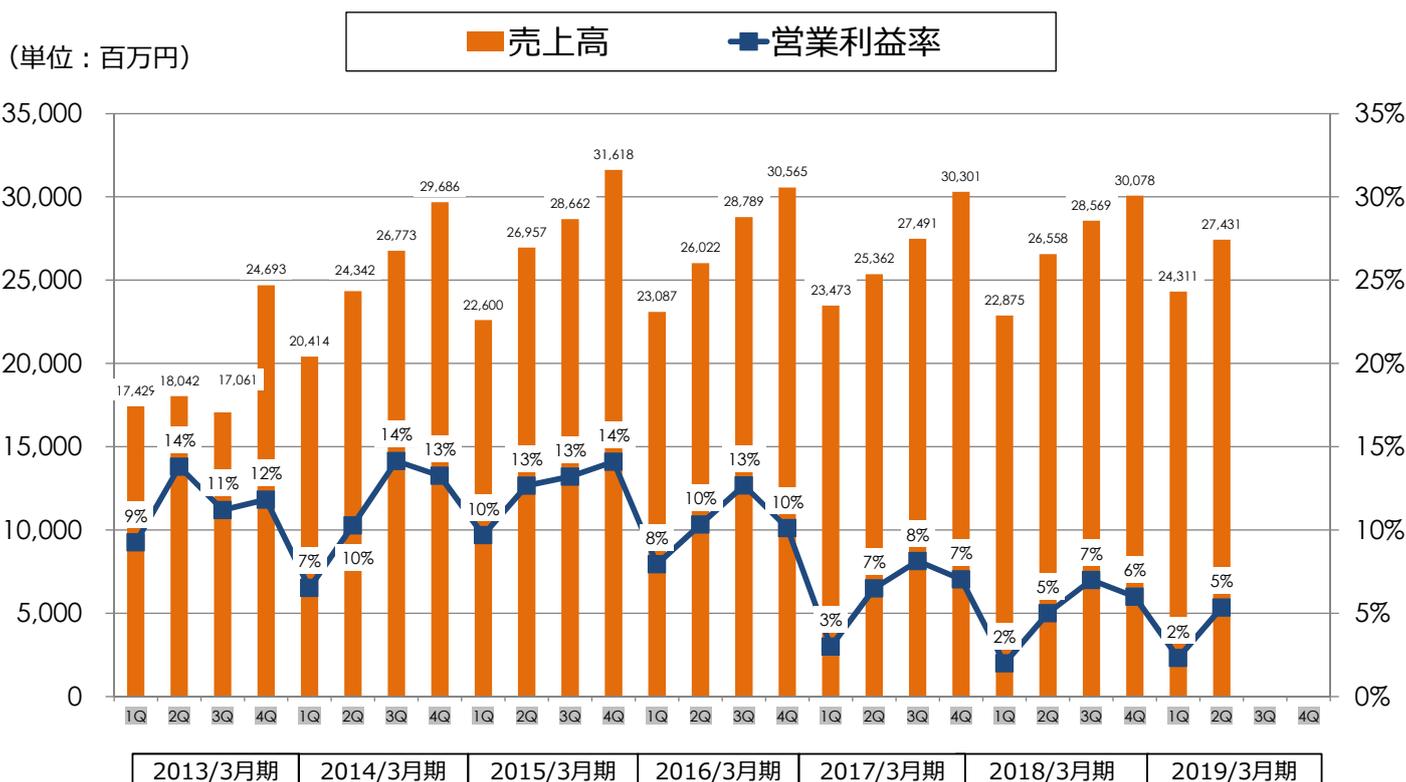
など

電気設備事業



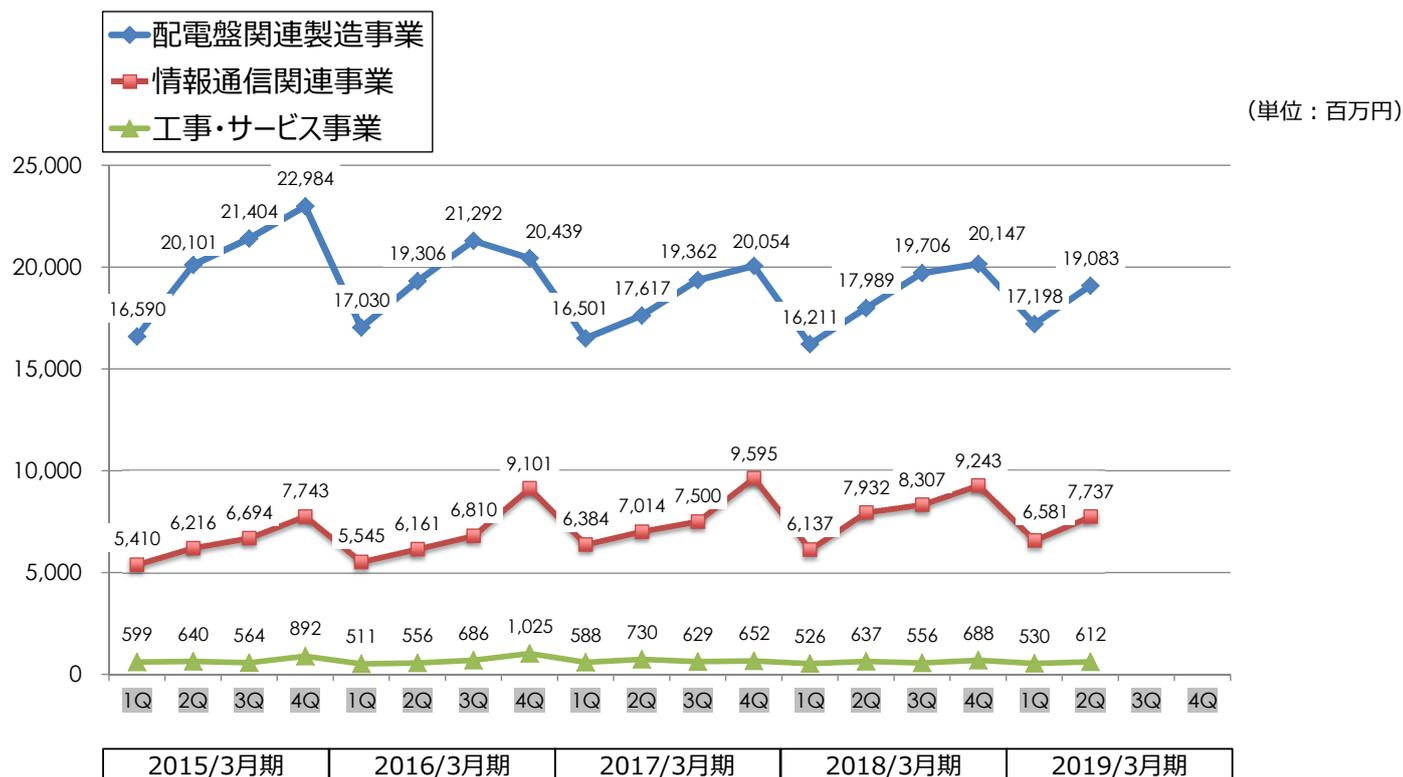
受電設備、計装設備、照明設備、電源コンセント、空調設備等の電気設備工事

連結売上高の推移（四半期）



セグメント別 売上高の推移 (四半期)

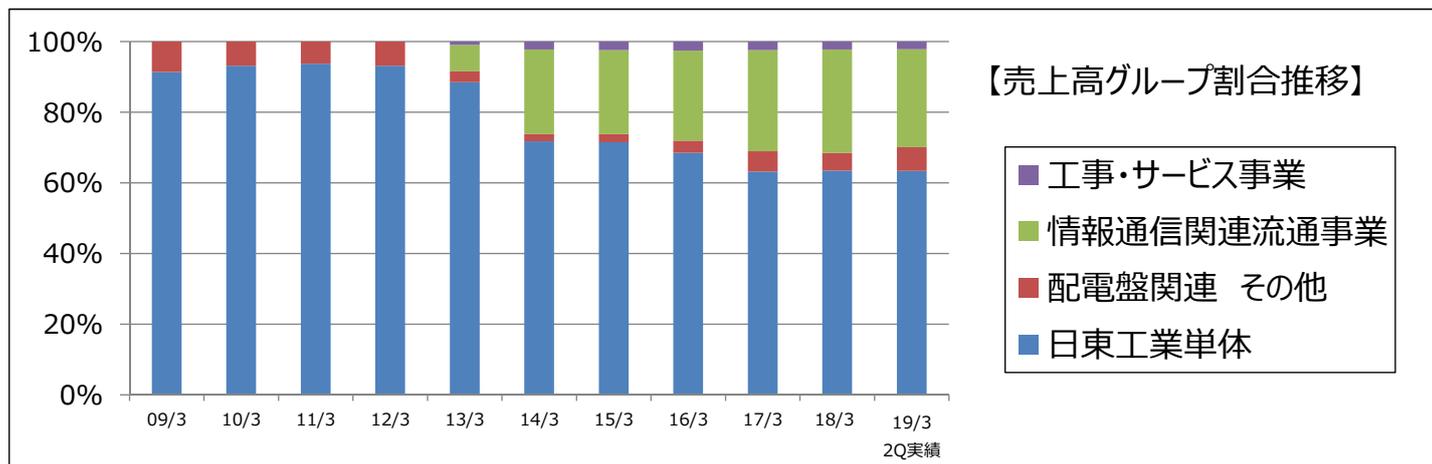
2019年3月期
第2四半期



グループ連結状況 (2016/3月期～)

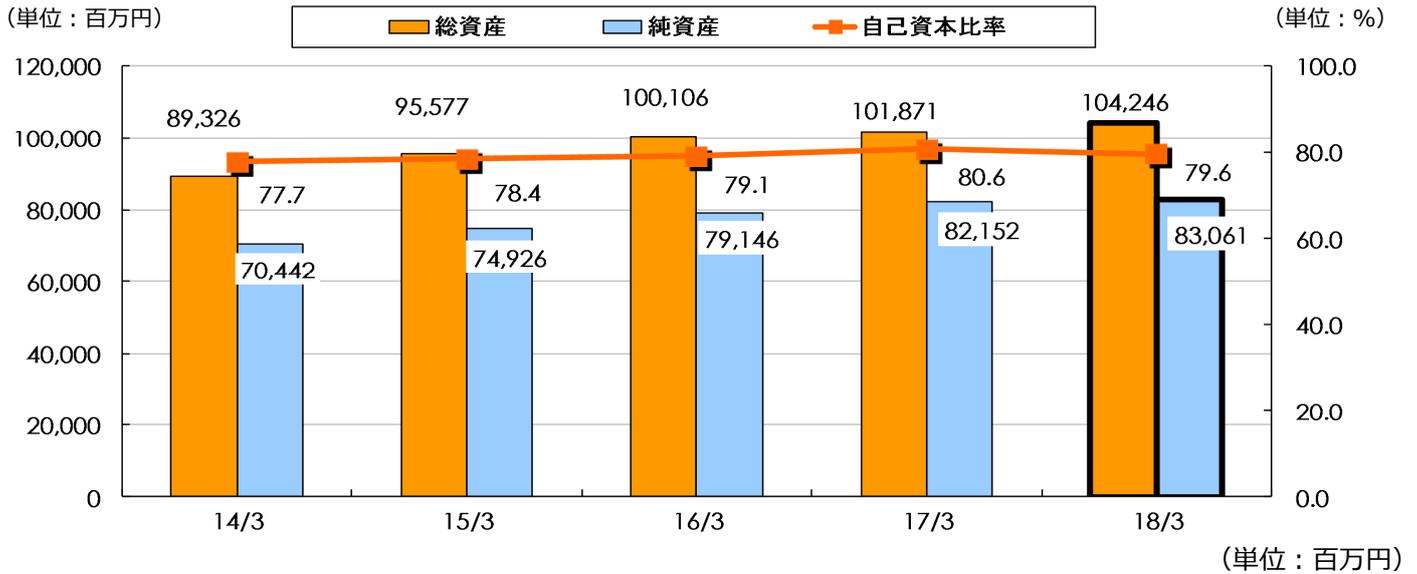
2019年3月期
第2四半期

【子会社 連結時期】	2017/3月期				2018/3月期				2019/3月期	
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
株式会社新愛知電機製作所										
株式会社大洋電機製作所										
NITTO KOGYO BM(THAILAND)CO.,LTD										
Gathergates Group Pte Ltd										
SUNTEL(THAILAND)Co.,Ltd										
株式会社ECADソリューションズ										



総資産・純資産・自己資本比率

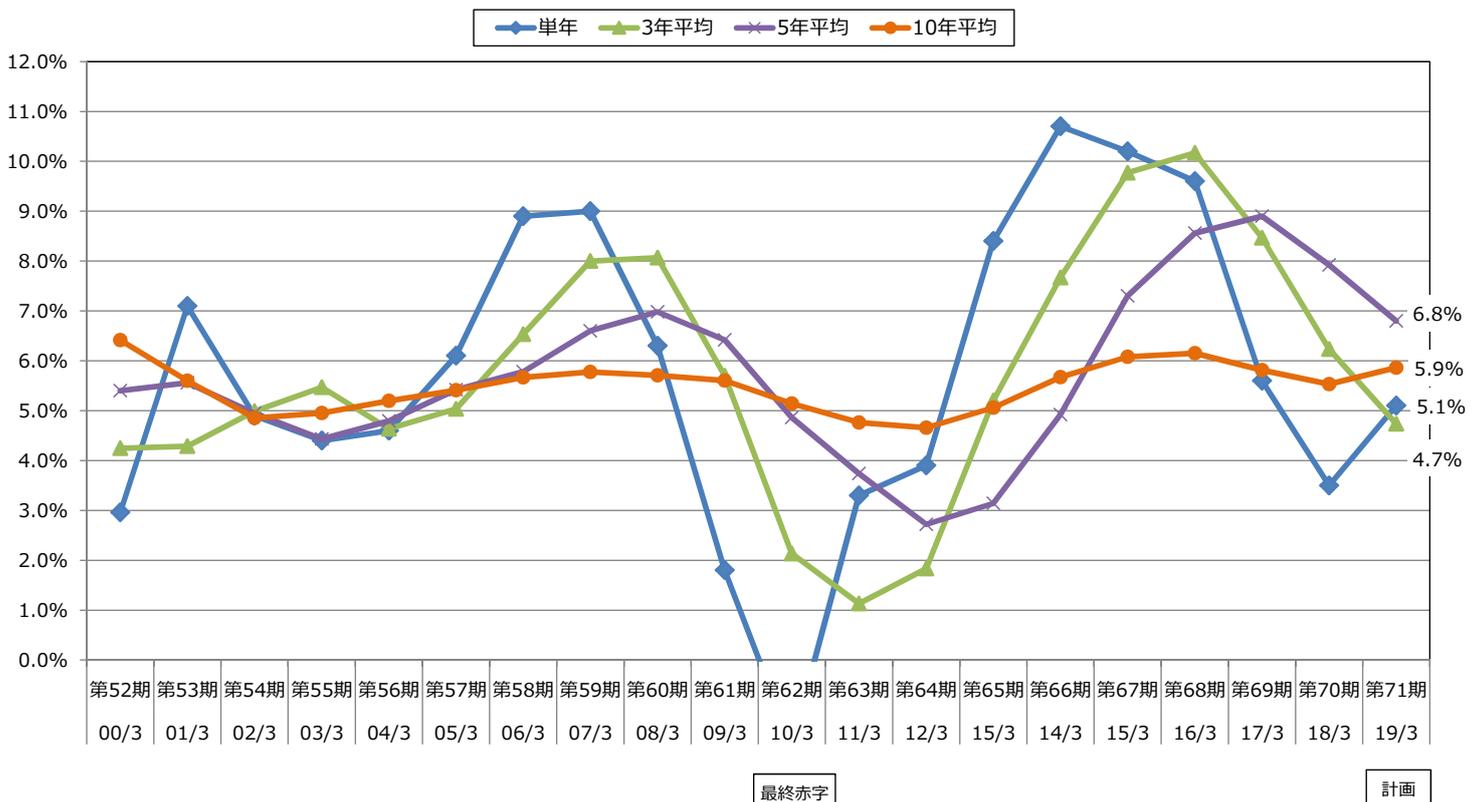
2019年3月期
第2四半期



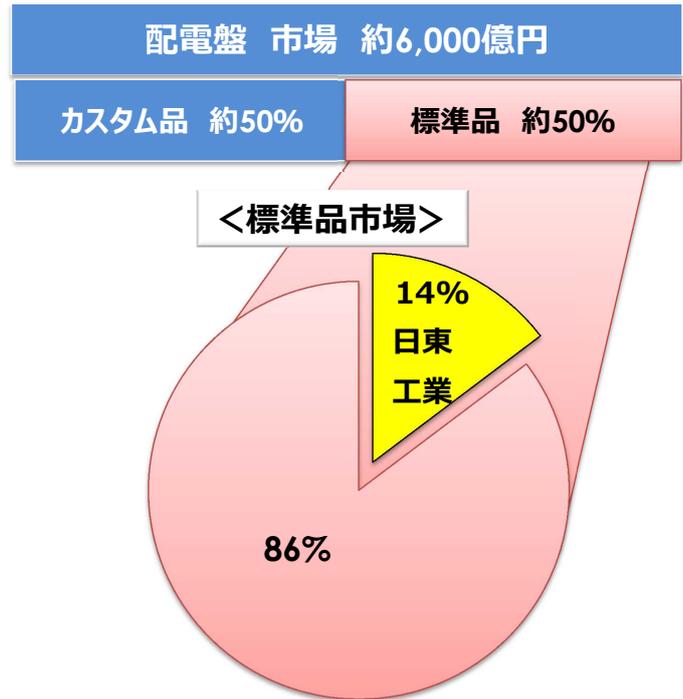
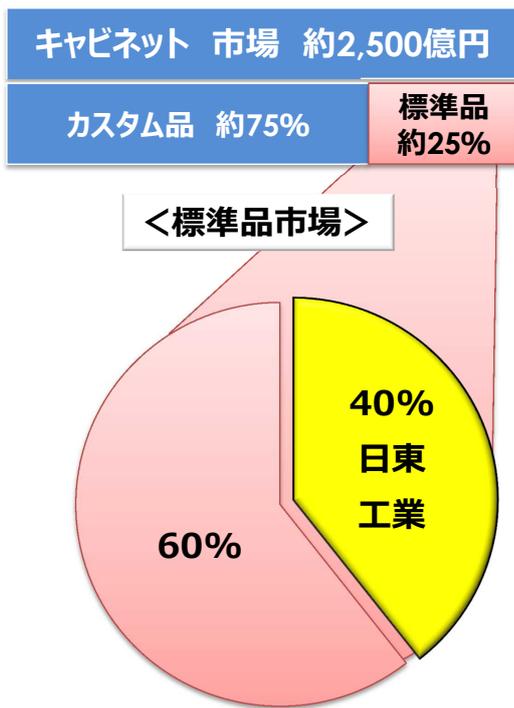
	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3
総資産	89,326	95,577	100,106	101,871	104,246
純資産	70,442	74,926	79,146	82,152	83,061
自己資本比率	77.7%	78.4%	79.1%	80.6%	79.6%

ROE(自己資本当期純利益率)の推移(連結)

2019年3月期
第2四半期

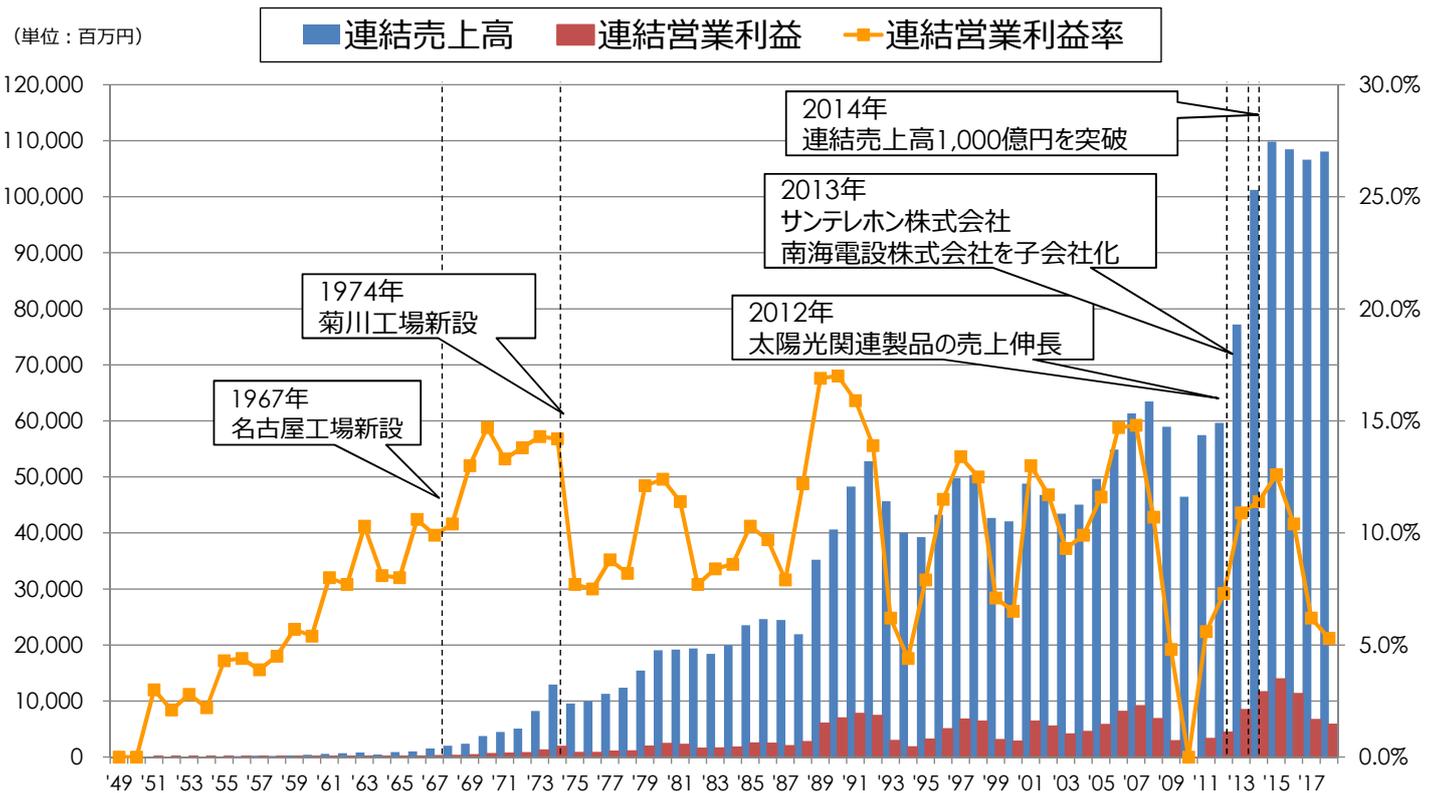


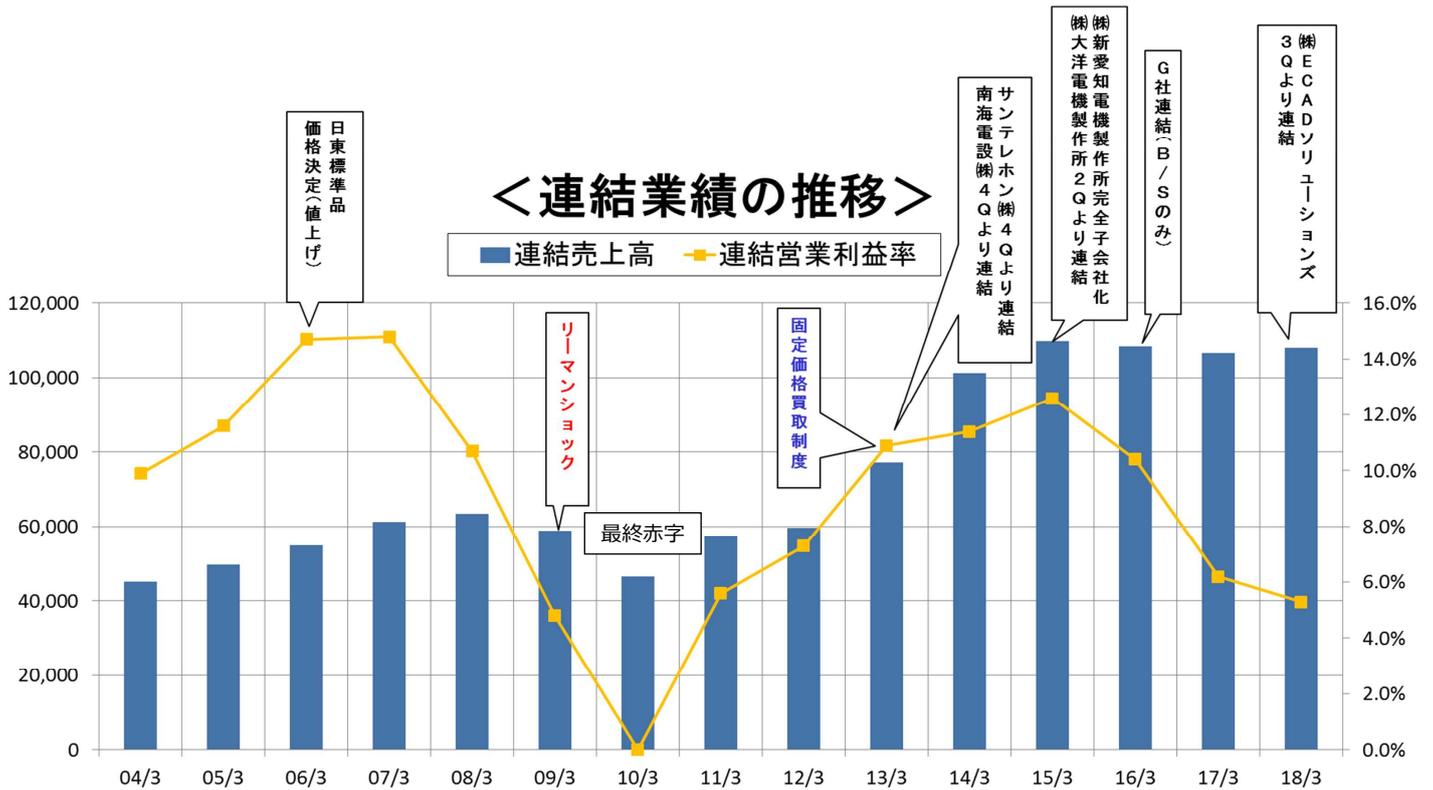
標準品市場でキャビネットはシェアNo.1！配電盤はシェアNo.2！（※）



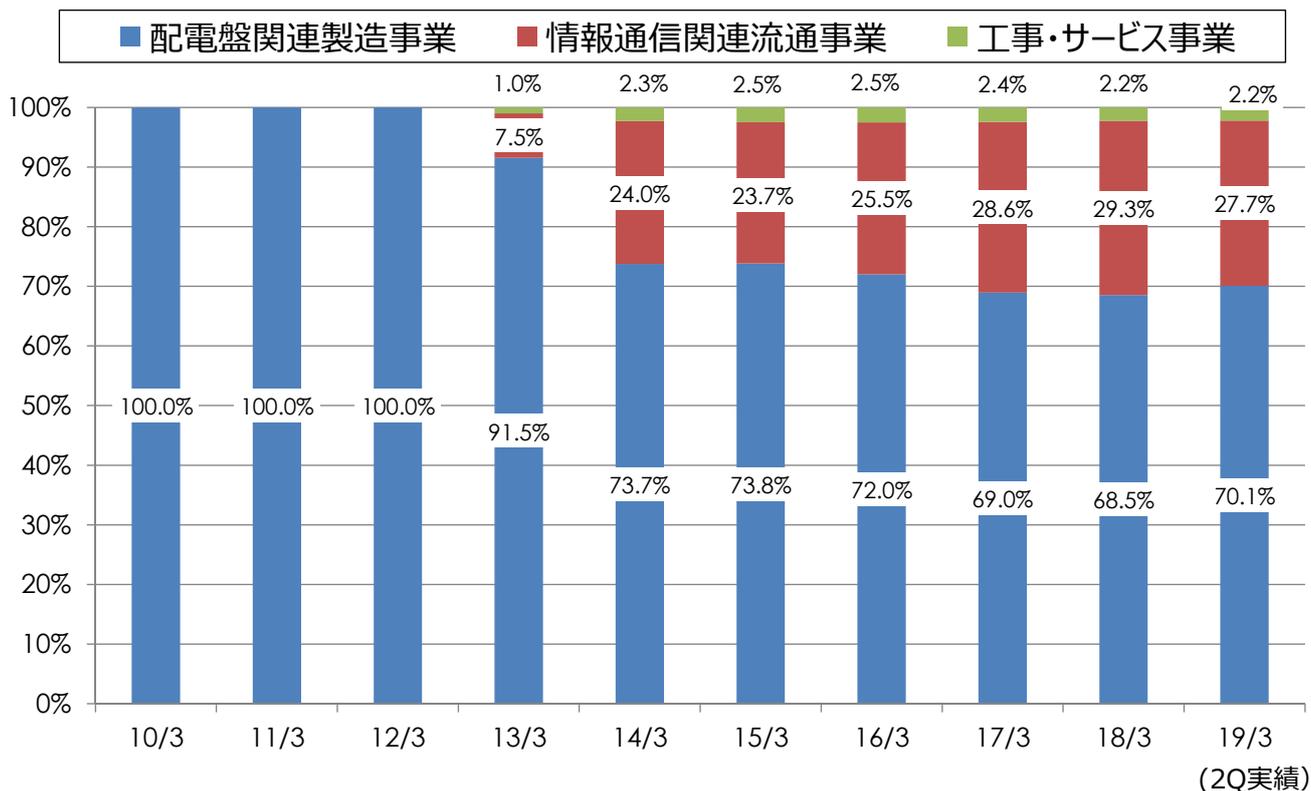
※キャビネット市場にシステムラック、配電盤市場に光接続箱を含む

業績推移 設立～現在





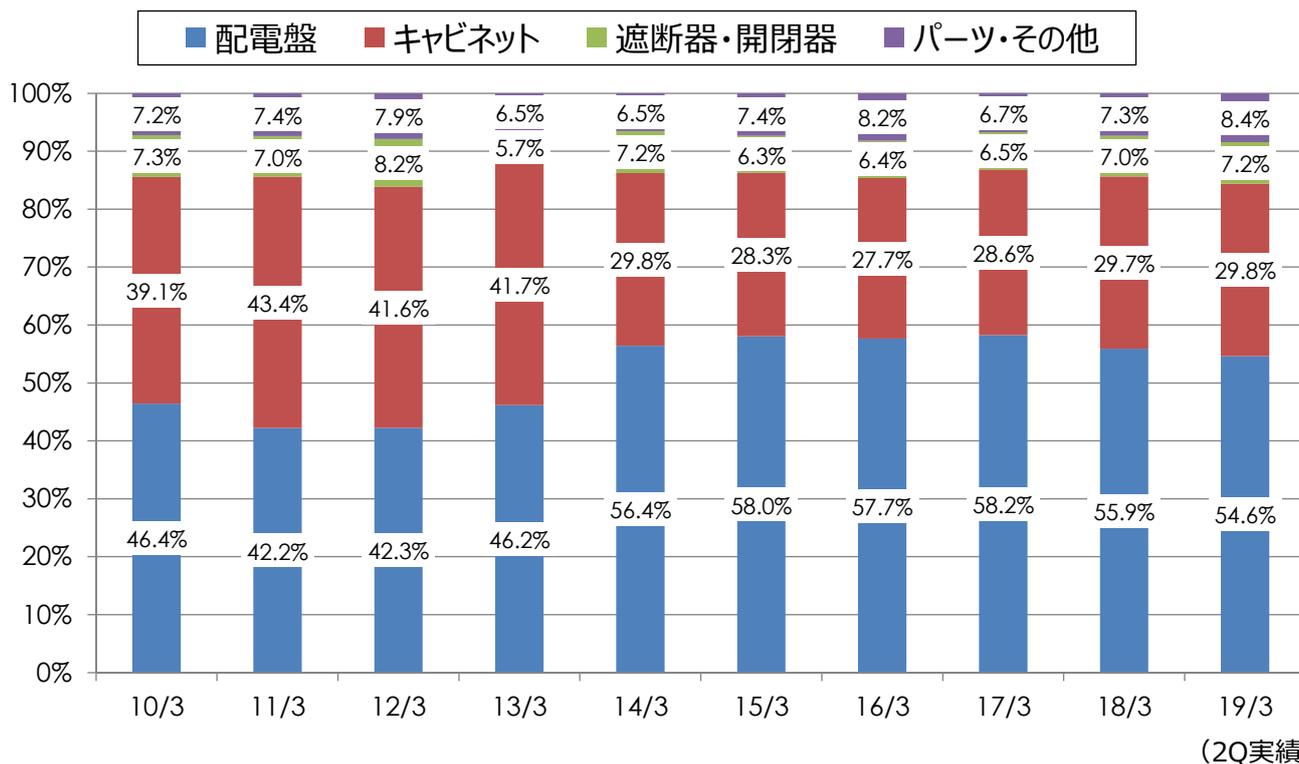
事業セグメント別 売上高構成比



四捨五入の関係で数値の合計が一致しないことがあります。

配電盤関連製造事業（部門別売上高構成比率）

2019年3月期
第2四半期



四捨五入の関係で数値の合計が一致しないことがあります。

電気自動車 充電スタンド

2019年3月期
第2四半期

電気自動車用充電スタンド

急速充電
(当社非対応)

普通充電

日東工業の事業領域

【パブリック用】

EVC2



Pit



【ご家庭・プライベート用】

EVR



トヨタホーム
オリジナル

